

英文法の基礎知識

1. 品詞の種類

1) 名詞 (Noun)

「ものの名前を表す」品詞。名詞には、「可算名詞」と「不可算名詞」の2種類がある。

可算名詞は、数えられる名詞のこと。可算名詞には、1つ(単数形)の場合は、a または an、複数形の場合は、s をつける。この s のことを「複数形の s」といい、a または an を「冠詞」という。たとえば、ship は、単数形の a ship (1 艘の船)、複数形の ships (2 艘以上の船) となり、exporter (輸出業者) は、単数形の an exporter (一人の輸出業者)、複数形の exporters (2 人以上の輸出業者) となる。

不可算名詞は、原油 (crude oil) や食物 (food) などの数えられない名詞のこと。数えられないので、crude oil や food の前に a (an)、後に s をつけることはできない。

辞書には、可算名詞を C (Countable の略)、不可算名詞を U (uncountable の略) という記号で表示している。

a ship 船舶(C)、crude oil 原油(U)

2) 冠詞 (Article)

名詞の前に置かれる品詞。a, an, the.

a や an は、「他にもたくさんあるけれどその中の1つ」という場合に使われる。「たくさんの中の一つ」という意味から、不定冠詞といわれ、後に続く名詞の最初の音が母音の場合には an が使われる。

a ship (1 艘の船)、an exporter (一人の輸出業者)

the は、「それしかない」、「例の」という場合に使われる。不定冠詞と違って、決まったものに使われるので、定冠詞といわれる。

the draft (例の手形)、the sun (太陽) sun は一つしかないので、必ず the sun となる。

3) 動詞 (Verb)

(1) 動詞の働き

「ものの動きや状態を表す」品詞。動詞には、「be 動詞」と「一般動詞」の2種類がある。

be 動詞は、「～である」という意味を表す。

is (～である)

一般動詞は、「売れる」「希望する」といった具体的な動作や状態を表し、自動詞と他動詞がある。

自動詞は、目的語をとらず、主語の動作を表す。sell (～が売れる)、arrive (～が到着する)

他動詞は、目的語をとる。hope（～を希望する）、represent（～を代理する、～を代表する）、sell（～を売る）

（２）時制

①現在形

- ・現在の状態を表す：I love ice cream.（私はアイスクリームが好きだ。）
- ・現在の反復動作を表す：I always drink coffee at lunch.（私はいつも昼食時にコーヒーを飲む。）
- ・一般的な事実を表す：The earth goes around the sun.（地球は太陽の周りを回る。）
- ・確定した未来の予定を表す：Our flight leaves at 10:35.（我々のフライトは10時35分に発着する。）

②過去形

- ・過去の状態を表す：The bookstore was full of young people.（その書店は、若者で一杯だった。）
- ・過去の反復動作を表す：I usually rode my bicycle to school.（私はいつも自転車で学校に通った。）
- ・過去に一回行われた動作を表す：We went to a concert.（我々は音楽会に行った。）

③未来形

- ・will で表す：My wife will be fifty next year.（私の妻は来年50歳になる。）
- ・be going to で表す：I am going to buy a camera tomorrow.（私は明日カメラを買うつもりだ。）

④現在進行形

- ・現在進行中の動作を表す：She is playing the piano now.（彼女は今ピアノを弾いている。）
- ・一定期間の反復動作を表す：These days I am eating a lot of vegetables.（私はこの頃野菜をたくさん食べている。）
- ・未来の予定を表す：I am leaving Tokyo for Los Angeles tomorrow.（私は明日ロサンジェルスに向けて東京を出発する予定だ。）

⑤過去進行形

- ・過去のある時に進行中であった動作を表す：I was watching TV in the afternoon.（私は午後テレビを見ていた。）
- ・過去のある期間の反復動作を表す：I was coughing all night long.（私は一晩中咳をしていた。）
- ・過去から見た未来の予定を表す：I thought you were coming home at seven.（あなたは7時に帰って来る予定だと思った。）

⑥未来進行形

・未来のある時に進行中だと思われる動作を表す：We will be playing tennis at this time tomorrow. (我々は明日の今頃はテニスをしているだろう。)

・未来のある時にする予定になっている動作を表す：I will be meeting him at the airport next week. (私は来週彼を空港に迎えに行くことになっている。)

4) 形容詞 (Adjective)

「名詞を修飾する」品詞。a major importer (有数の輸入業者) という表現では、major という言葉が、輸入業者の様子を説明しており、輸入業者を修飾している。major (主要な)、expensive (高価な)、irrevocable (取消不能の)、German (ドイツ製の)

5) 副詞 (Adverb)

名詞以外の動詞、形容詞などの品詞を修飾し、さらに、文全体を修飾する品詞。The goods sell well. (その商品は良く売れる。) という文では、well (副詞) は、sell (動詞) を修飾している。The price is very low. (その価格は、大変安い。) という文では、very (副詞) は、low (形容詞) を修飾している。

6) 代名詞

日本語の「それ」「あれ」に当たる品詞で、名詞を繰り返さないために使う。it (それ)、he (彼)、she (彼女)、this (これ)、that (それ、あれ)、they (彼ら、彼女ら)

ひと口に「代名詞」と言っても、さまざまな形がある。例えば、「私」に関する代名詞には、I、my、me、mine という4つの形がある。

最初の I は「主格」と呼ばれる形で、「私は」「私が」という意味を持ち、主語の部分に置いて使われる。

2番目の my という形は「所有格」と言って、「私の」という意味になる場合に、名詞の前に置いて使われる。

3番目の me は「目的格」と言って、動詞や前置詞の後ろに置かれ、「私に」「私を」という意味で使われる。

最後の mine は「もの」という意味を含み、「私のもの」という、1つの名詞のように用いることができる。「所有代名詞」という。

代名詞一覧表

	主格 (～は)	所有格 (～の)	目的格 (～に/を)	所有代名詞 (～のもの)
一人称	I (私)	my	me	mine
	we (我々)	our	us	ours
二人称	you (あなた)	your	you	yours
	you (あなた達)	your	you	yours
三人称	he (彼)	his	him	his
	she (彼女)	her	her	hers

	it (それ)	its	it	its *
	they (彼ら)	their	them	theirs
	Tom	Tom' s	Tom	Tom' s

*まれにしか使用されない。

7) 助動詞

「動詞を助ける」品詞。We can supply you with the goods. (我々はその商品をあなたに供給できる。)の can が助動詞で、supply という動詞の前に置かれ、「供給する」という動作に「できる」という可能の意味を加えている。このように動詞に意味を付け加え、動詞を助けているので、助動詞という。can (～できる)、may (～かもしれない)、shall (～だろう)、will (～だろう)、must (～でなければならない、～にちがいない)

上記の助動詞を一般助動詞というが、その他に be 助動詞、have 助動詞、do 助動詞がある。

8) 疑問詞

「どこ」や「いつ」のように、「何らかの情報を尋ねる場合に使う」品詞。例えば、Where do you buy it?(あなたはどこでそれを買いますか)という文の where という疑問詞を使い、「どこ」という場所に関する情報を問いかけるような場合に用いられる。where (どこに、どこへ、どこで)、when (いつ)、what (何)、how (どのように)、which (どの)

9) 前置詞

「名詞の前に置かれ、場所や時などを表す働きをする」品詞。例えば、We produce it in our factory. (我々は、それを我々の工場で製造する。)の in が前置詞で、「我々の工場で」というように場所を表す働きをしている。「前置詞＋名詞」は、形容詞や副詞の働きをすることもでき、これを形容詞句または副詞句という。

形容詞句の例：The goods are of use. (その商品は役にたつ。)、the goods in question (問題の商品)

副詞句の例：by sea (船便で)、at your end (そちらで、そちらに)

10) 接続詞

「言葉と言葉を接続する」ために用いられる品詞で、等位接続詞と従属接続詞がある。import and export (輸入と輸出)や import or export の文言においては and(～と)や or (～または)という接続詞が、import と export という2つの名詞をつなぐ役割を果たしており、これを等位接続詞という。また、When we attended the International Trade Fair, we saw a very interesting merchandize. (我々が国際見本市を参観した時、大変面白い商品を見た。)の when(～するとき)という接続詞は、コンマではさまれた2つの文と文をつなぐ働きをしている。we saw a very interesting merchandize は、主要な部分で主節と呼ばれ、when という接続詞で導かれる副詞節 When we attended the International Trade Fair は、主節

に従属しているので、従属節と呼ばれ、この従属節をつくる従属詞を従属接続詞という。名詞節をつくる従属接続詞については後述。

2. 基本的な文法用語

1) 主語

主語は、「～が」「～は」に当たる言葉で、文の先頭に置かれる。英語で主語になるのは、「名詞」「名詞句」など、名詞の働きをする要素のみ。主語は、S (Subject) という記号を使って表す。

2) 述語

述語は、「～する」「～である」に当たる言葉で、主語の直後に置かれる。述語の部分には、原則として動詞が使われる。述語は、V (Verb) という記号を使って表す。

3) 修飾する

「修飾する」というのは、「形容詞が名詞を飾ったり、副詞が動詞やさまざまな品詞を飾ったりすること。英文法では、この「飾る」ことを「修飾する」(qualify) という言葉を使って表す。

4) 語／句／節／文

語は、1語の単語のことで、例えば、commerce (商業) は、1単語なので語になる。

句は、2語以上の単語から成る言葉のこと。名詞句、形容詞句、副詞句がある。例えば、international trade (国際貿易) は、名詞の働きをするので、「名詞句」という。the goods in question (問題の商品) の in question (問題の) は、形容詞の働きをするので、形容詞句という。We send you the goods by sea. (我々は、その商品を船便で送る。) の by sea (船便で) は、副詞の働きをするので、副詞句という。

節は、主語と述語でできているひとかたまりの言葉のこと。We hope that you give us your special payment terms. (我々はあなたが我々に特別な支払条件を与えることを希望する。) は、一つの「文」であるが、この文の中には、We hope という主語・述語のかたまりと you give us your special payment terms という主語・述語のかたまりがある。この二つのかたまりは、それぞれ「節」に当たり、We hope は、主要な部分で主節と呼ばれ、that という接続詞で導かれる名詞節 that you give us your special payment terms は、主節に従属しているので、従属節と呼ばれる。なお、この that は、名詞節を導く従属接続詞といわれる。that 節が形容詞的に使用される場合は、その that を接続詞とはいわず、関係代名詞という。

文は、大文字の言葉で始まり、ピリオドが打たれるまでのすべてを指す。これまで出てきた上記のピリオドで終わっている言葉のあつまりが文に当たる。

5) 文の種類

肯定文は、「～である」「～する」という意味を持つ文のこと。We are leading importers in Japan. (当社は、日本における大手の輸入業者です。)、We look forward to your reply. (御社のご返事をお待ちします。)

否定文は、「～しない」「～でない」という、肯定を打ち消す文のこと。These goods are not expensive. (これらの商品は、高くない。)、Our order has not yet reached us. (当社の注文品はまだ到着していません。)

疑問文は、「～しますか」「～ですか」と問いかける文のこと。Do you want to buy it? (あなたはそれを買いたいですか?)、What do you want to buy? (あなたは何を買いたいですか?)